



問い合わせ
ふれあい福祉課
☎24・8052

あなたは困っている人を見掛けただけですか。例えば、階段に苦労しているお年寄りや行き先が分からない外国からの旅行者などに会ったら……。小松市は誰もがくらしやすく、訪れやすいまちを目指して、「やさしいまちづくり」を進めます。



やさしいまちづくり
VOL.1

特集 笑顔あふれるやさしいまちへ

障がいのある人の参画と地域の人達が交流する場として、平成20年に「三草二木 西園寺」をオープンしました。廃寺を活用し、もともとの地域の拠り所としてのお寺の役割を引き継いだ空間を作っています。ここでは障がいのある人や町内の人が働いて



Interview
誰もが一人の人として
関わり合い、支え合うまち

三草二木 西園寺 施設長 安倍 真紀さん

いて、利用者は子供からお年寄りまでと、世代や障がいなど関係なく交流します。また、地域の皆さんの協力を得ながら清掃活動などの町内行事にも参加し、みんなが一緒に関係を持ちながら過ごせるようになっています。一般的に社会的弱者と言われる人達も、ただ一方的に助けられているだけではありません。経験や知識を生かして社会に還元したり、地域の支えになったりします。大切なのは、みんなが関わり合いを持ち、そのような環境を普通のこととして受け入れていくことだと思います。



▲段差のないエントランス
駐車場から段差がなく、入り口も自動ドアなので快適に出入りできます。



▲誰もが使いやすい多目的トイレ
手すりやベビーベッドなどを設置しています。

子供もお年寄りも障がいのある人も外国の人も、誰もが分け隔てなく、便利で使いやすい。そのような環境や施設、製品などの設計が「ユニバーサルデザイン」です。例えば、シャンプーの容器の側面にはギザギザが付いています。これは目を閉じていてもシャンプーがリンスかが分かるようにデザインされたものです。障がいのある人などが不便に感じるバリア（障壁）を取り除くバリアフリーと同じく、思いやりが行き届いたやさしい工夫です。

まちで見つけた！ユニバーサルデザイン



▲絵文字による案内表示
言語が違っていても通じます。
▲車椅子の人に配慮した
エレベーター内の鏡
振り向かなくても後方確認ができます。

探してみよう！
身近にあるやさしさ「ユニバーサルデザイン」

Q.「やさしいまち」ってどんなまち？
思いやりを持ち、みんなで助け合って仲良く健康に過ごせるまち。生活が楽しくなります。



東藤 昭さん（大領中町）

子供にやさしい



「小松市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました

子育てに関する施策を総合的に進めるため「小松市子ども・子育て支援事業計画」(平成27年～31年度)を策定しました。地域全体で子育て家庭を支援し、親が子育ての喜びを感じることができ社会的実現を目指して取り組んでいきます。

平成27年4月から

18歳以下第3子以降の保育料が無料になりました。

平成27年10月1日診療分から

18歳以下の医療費の窓口支払いをなくします(保険診療外の費用や入院時の食事代などは対象外)。

Q.「やさしいまち」ってどんなまち?

子供が安心して過ごせる場所があること。絵本館や児童館は設備も充実しているので、よく利用しています。

現況届と合わせて 子育て世帯臨時特例給付金の 申請を忘れずに

●子育て世帯臨時特例給付金とは?

消費税引き上げなどの負担を軽減するため、子育て世帯に臨時的に給付金を支給するものです。

対象 6月分の児童手当を受給している人(特例給付を除く)

支給額 対象児童1人につき3千円

支給方法 児童手当の振り込み口座に振り込みます。振り込みは10月の予定です。

●申請方法について

対象となる中学生以下の子供がいる世帯には、児童手当の現況届を郵

松山幸司さん、枝見さん、悠生くん(日末町)



送します。現況届は子育て給付金の申請書を兼ねていますので、同時に手続きできます。

また、公務員の人には、勤務先から申請書と児童手当受給証明書が配布されます。

提出方法・受付時間 申請書に記入、押印し、必要書類を同封して郵送または持参してください。

提出期限 6月30日(火) 郵送の場合、当日消印有効



問い合わせ

こども家庭課 ☎24・8175

ふれあい福祉課に設置しています。



ぜひ活用してください。

体に障がいのある人や赤ちゃん連れの人が外出するとき、まちには様々なハードルがあります。どこにどのような設備があるのかを事前に知ることができれば出掛けやすくなるのではないのでしょうか。

そこで、NPO法人いのちにやさしいまちづくりぽぽねっと、小松市障害者自立支援協議会、小松短期大学の学生が協力し「バリアフリーマップ+」を作成しました。この「+」は、ハード面のバリアフリーだけでなく、人の思いやりや気遣いをプラスしたという意味が込められています。

「バリアフリーマップ+」 完成!

Interview

やさしいまちづくりの出発は

その人の物語を聞くことから

NPO法人いのちにやさしいまちづくりぽぽねっと

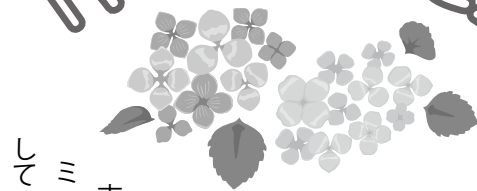
理事長 榊原 千秋さん

です。

まずは、一人の話を真摯に聞くことから始めましょう。心と心が共鳴し、お互いが相手の役に立ち幸せと感じられる、それがやさしいまちにつながっていきます。



皆さんのご意見お寄せください やさしいまちづくり意見募集 「やさしさねっと」



やさしいまちを実現するには、市民や企業など皆さんの協力が必要です。

あなたの考えるやさしいまち、やさしいまちにするためのあなたの行動など、皆さんの意見をぜひ送ってください。

応募方法 市ホームページ、ふれあい福祉課へFAX(23・0294)または「やさしさねっと」ボックスから

※「やさしさねっと」ボックスは、市役所南支所、小松駅前行政サービスセンター、市民センター、末広体育館、第一地区コミュニティセンター、こまつドームに設置しています。

大切なのは思いやりの心

まちのバリアフリー化やユニバーサルデザインは必要ですが、それだけでは全てのバリアはなくなりません。大切なのは「心のバリア」を取り除くこと。全ての人に思いやりを持って接することで、解決できることがたくさんあります。

心のバリアフリー化

何かお手伝いできることはありますか?

